

植民地とはなにか？

しかし、経済学上の意味における植民地とはなにか？ すでにさきに述べたように、マルクスによれば、この概念の基本的標識はつぎのとおりである。(一) 移住者がたやすく入手できる、占拠されていない、自由な土地が存在すること。(二) できあがった世界的分業、世界市場が存在しており、そのおかげで植民地が、農業生産物の大量の生産に専門化することができ、それらの生産物と引換えに、「他の事情のもとではそれらを自分で製造しなければならないであろう」(さきの 219 ページの注、第四章、第二節をみよ) ところの、できあがった工業製品をえることができること。

第三卷 第八章 国内市場の形成 P627